

そらこめ通信

No.69 2016年4月号

このたびは弊社の米をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。日頃よりご愛顧頂いております皆様にはこの場を借りて厚くお礼を申し上げます。

2月の大雪から一転、3月は比較的穏やかな天候が続いたことで、4月に予定している播種(育苗ハウスでの種まき)の準備が着々と進んでいます。種まきは4月中旬頃から始まる予定で進んでおり、今のところほぼ例年並みのスピードではないかと思えます。弊社では、毎年秋の収穫後に全ての圃場から土のサンプルを採取して土壌分析を行っています。各圃場における土壌分析の結果が出るのが2月頃。その結果を踏まえつつ、3月に蒔く融雪剤について(圃場に足りない成分を補えるものを使う)工夫をしたり、施肥の設計に利用するなど活用しています。こうした手間を加えることで、より健康な稲の生育を促し、併せて食味が向上するよう考えているわけです。はたから見れば、毎年、同じ作業を繰り返しているように見えますが、少しずつ改良を加えながら前に進んでいるのが現実です。時には機械が突然故障し、立ち往生するというアクシデントもありますが…。

3月初旬、本社社屋内において精米プラントをパテーションで間仕切る工事を実施しました。精米するエリアと、その他のエリアを明確に区別することで、より高い品質の商品を皆様にお届けできればとの想いから行ったこと。想定通りことが運ぶことを願っています。

日本気象協会から出された向こう3カ月における長期予報によれば、北海道の気温について、4月は割と高めで推移、5月、6月も平年並みからやや高めとありました。稲にとって大事なのは6月後半から7月後半にかけてですが、それについてはもう少し先にならないと分かりません。今年も、良い出来秋を迎えられるよう願ってやみません。



苗床の除雪(3月1日)



ハウスの組み立て(3月1日)



本社精米施設の改修～精米プラントと事務所の間に間仕切りを入れました(3月7日)



以前の本社社屋内の状況



ハウスの組み立て(3月7日)



大型機械を使った除雪(3月10日)



ビニールハウスの除雪作業(3月11日)



育苗ハウスの組み立て作業(3月12日)



融雪剤の散布(3月17日)



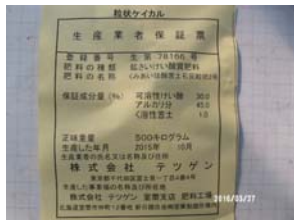
水田の積雪深は約1m(3月26日)



融雪剤の散布(3月26日)



トラックから融雪剤を補充(3月26日)



融雪剤はケイ素分を多く含むものを使用



播種に使う土を作る作業(3月26日)



圃場における土壌分析資料をまとめました

土壌分析ですが、平成23年から毎年実施していて圃場ごとに経年変化をまとめてあります。土の成分には、窒素、リン、カリウム(いわゆる3元素)の他、マグネシウムやケイ酸などがあり、それぞれ植物に及ぼす影響が異なります。それら数値を確認しながら翌期の施肥設計を決めるのですが、これが結構難解で、当然のことながら結果がすぐに出るわけではなく、少しずつ改善されればよい方。まさに土の健康診断です。

インターネットで美味しいお米!

(株)空知こめ工房 ホームページ
<http://www.sorachi-kome.jp/>
 ブログ「生産日誌」更新中です